

京城日報

十月一日夕刊 (朝刊併せて八頁)

黑龍州方面 戰報

守備隊目的地著

未政府委員轉任

司令官休戰拒絶

英軍三哩進出

畏し 聖慮宏遠

人心一新に効果あり

大浦兼武氏死去



故大浦兼武氏

殖銀の創立

創立總會役員任命

朝鮮殖産銀行の重役

有賀 光豊 中村 光吉 櫻井 小一 中村 光吉 櫻井 小一

積極方針の經營

朝鮮殖産銀行の前途と殖銀

獨將敗戦自白

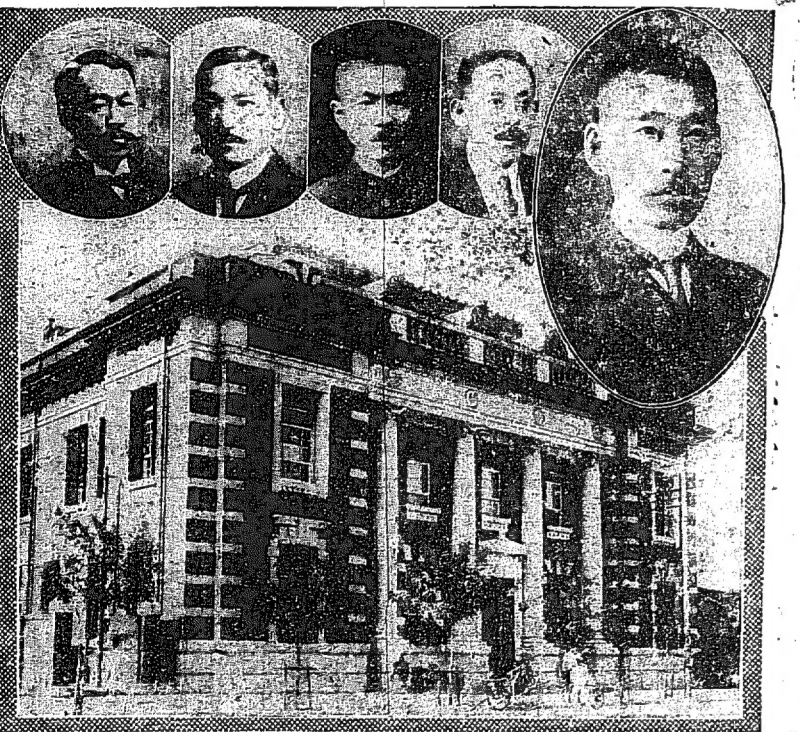
議會に於て西報記者を説明す

八千萬圓突破

朝鮮殖産銀行の業績

茶前酒後

大町桂月氏入京



朝鮮殖産銀行の重役

朝鮮殖産銀行の重役

有賀 光豊 中村 光吉 櫻井 小一 中村 光吉 櫻井 小一

積極方針の經營

朝鮮殖産銀行の前途と殖銀

獨將敗戦自白

議會に於て西報記者を説明す

八千萬圓突破

朝鮮殖産銀行の業績

茶前酒後

大町桂月氏入京

朝鮮殖産銀行の重役

有賀 光豊 中村 光吉 櫻井 小一 中村 光吉 櫻井 小一

積極方針の經營

朝鮮殖産銀行の前途と殖銀

獨將敗戦自白

議會に於て西報記者を説明す

八千萬圓突破

朝鮮殖産銀行の業績



始政八周年 記念祭

東京府は、明治二十八年(一九一五年)二月十七日、東京府の始政八周年を記念し、府内各地に於て、大規模の記念祭を行はせられた。この日は、府内各地に於て、大規模の記念祭が行われ、多くの人々が参加した。祭りの内容は、音楽演奏、舞踊、スポーツなど多岐にわたった。また、各地の代表者が集まり、記念式典も行われた。この日は、府民の団結と発展を祈る好機となった。

愈々城明渡し

その日の首相官邸
内閣のニコニコ顔、首相官邸の明渡しは、一時の騒ぎで済んだ。首相官邸の明渡しは、一時の騒ぎで済んだ。首相官邸の明渡しは、一時の騒ぎで済んだ。

足早で名高

い渡邊少尉
足早で名高。い渡邊少尉。足早で名高。い渡邊少尉。足早で名高。

蘭商殺犯人

大阪で逮捕
大阪で逮捕。大阪で逮捕。大阪で逮捕。大阪で逮捕。

修羅道

修羅道。修羅道。修羅道。修羅道。修羅道。

近頃の世情は、修羅道。修羅道。修羅道。修羅道。修羅道。



蘭商殺犯人の逮捕(上) 蘭商殺犯人の逮捕(下)

蘭商殺犯人の逮捕。蘭商殺犯人の逮捕。蘭商殺犯人の逮捕。蘭商殺犯人の逮捕。

犯人判明。犯人判明。犯人判明。犯人判明。犯人判明。

二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。

科学的捜査の賜。科学的捜査の賜。科学的捜査の賜。科学的捜査の賜。

犯人を逮捕する迄。犯人を逮捕する迄。犯人を逮捕する迄。犯人を逮捕する迄。

二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。二萬圓見。

被害者。被害者。被害者。被害者。被害者。

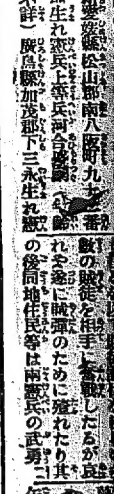
桂月氏。桂月氏。桂月氏。桂月氏。桂月氏。

被害者。被害者。被害者。被害者。被害者。

被害者。被害者。被害者。被害者。被害者。

被害者。被害者。被害者。被害者。被害者。

した「エダ〜エダ〜」罵を著けたら「勝たぞ」といふ聲に、到頭少々、日本兵が勝つた。今度こそ新軍を挫〜て、山を見せ、こんどは露が敗入るが、小川を渡りなよるやう、溜し上げたが日本兵はかゝ〜轉ばぬ。あたりはアノ〜と一隊人の威容、お互ひにハッ〜ハッ〜と笑ひころげ、最中、山に何處へ



此回收に對して
政府小額券の移入に伴は
爲めに補助貨（硬貨及び小額
を指す）は漸次拂底の傾向顯



各酒店にあり、
商標及本舗名を
御注意あれ



商況

東京米市特電

兵庫米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

大阪米市特電

正米は保合

見送り

多少の減収

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

維持前日米の値

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

生魚市場

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

毛谷村廿六番角力

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

冷性コシケ

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會

五光商會



冷性コシケ
女の白帯赤帯は怖ろしい
冷性コシケは、女に特有の病で、白帯赤帯を伴う。これは非常に怖ろしい病気である。...

命の母本館
大阪市北区中野町東武東横線三丁目
...

大阪商船出帆
三井物産
...

京城日報

朝鮮同胞に告ぐ(七)

忠孝一本(下)

忠孝一本とは、忠と孝の二徳を兼ねて、一徳として表現するものである。忠は君に對する忠、孝は親に對する孝である。忠と孝は、人間の徳の根本である。忠と孝を兼ねて、一徳として表現する、これが忠孝一本である。

朝鮮同胞に告ぐ(七)

朝鮮同胞に告ぐ(七)とは、朝鮮同胞に對して告ぐべきことである。朝鮮同胞は、我が國の同胞である。朝鮮同胞に告ぐべきことは、朝鮮同胞の利益を保護することである。

時局と國民思想(二)

我が國民性の缺陷

文部省長 横山榮次氏談

我が國民性の缺陷とは、我が國民の性質の欠点である。我が國民の性質の欠点とは、我が國民の性質の欠点である。

全西伯利政府組織運動

△西伯利政府組織運動とは、西伯利政府の組織運動である。西伯利政府の組織運動とは、西伯利政府の組織運動である。

邂逅

佐々木峯雪

邂逅とは、偶然の出会いである。邂逅とは、偶然の出会いである。

軍隊排下被服類

村上商店

軍隊排下被服類とは、軍隊排下の被服類である。村上商店は、軍隊排下被服類を販売している。

文藝通信教授

文藝通信教授とは、文藝通信の教授である。文藝通信教授は、文藝通信を教授している。

米相場高低の原理と賣買法

株式相場高の原理と賣買法

米相場高低の原理と賣買法とは、米相場の高低の原理と賣買法である。株式相場高の原理と賣買法とは、株式相場高の原理と賣買法である。

青年團及處女會

青年團及處女會とは、青年團及處女會である。青年團及處女會は、青年團及處女會を組織している。

再版 戰後の事業

再版 戰後の事業とは、再版 戰後の事業である。再版 戰後の事業は、再版 戰後の事業を出版している。

林公使の進退

は政變を機として解任せし辭職すべく後任は現小幡政務局長なりと決へらる(東京特電)。

有松市の選挙訴訟事件は大審院民事第二部馬場裁判長係りにて審理中のところ三十日午前十一時『本件上告は之れを棄却す』との判決

言渡ありたり之れによりて代議士
 案四期氏は愈々失格せるを以て若
 松市は更に再選舉を行ふ事なれ
 り(東京特電)

◆天津棉花豐作

近年豫有の豐作を示し平年に比し
 句三割の増收見込にて相場は百斤
 に就き二十四兩なり積付反別増加
 の結果本年天津市場に上る可き糧

○日露銀

一日朝歸京せし美濃部鮮銀續藏の
車中談に曰く
▲新藏相觀
原内閣も成立

た、男は一般より積極的樂天的であつた。政治家と稱せられその職に就任し大蔵大臣は高橋是清男に決定した。男は一般より積極的樂天的であつた。

財政家の將來云ふ事は多少問題なつてゐるやうだが刻下の時局非常に重大であり何人かその局當るも至難の問題が發生してゐる。

の噂さるゝ如き財政方面に於ては、
極主義で進む云ふ事はあるまい。
又男も新聞紙上で時々放談され
程樂天的な人でなく事實その反

には極めて細心の觀察を荷くもせし
點がある事は男が從來さ多くのめ
ひのてい方針で進むだらうと思
又進まざるを得まい、山本達雄
の蔵相就任説も出てゐたが農商
省の方も今日では中々重要な仕
が多い従つてその局に當る人とし

▲日露銀行成らん 昨午
東京で日露資本家の間に協商
續けてゐた日露銀行の設立は最

かと思ふ其組織は日露合辦であるが資本金五百萬、留し本店を神戶に設け主要地に支店を置く。鮮銀は位置の關係より云ふも日本資本の營業方針より見るも日本資本の幹事銀行格で引受け株式にもくなく、色々盡力をする事になる。既に本側の銀行有力資本家の了解は得てる、唯その設立形式を如何にするか、露國が帝

見らに本年一月以來倫敦銀地用
金銀と昨年同期より五万五千
十圓五なるを減額する

見らに本年一月以來倫敦銀價用
昨年同期より五乃至十

九一二年	二八七	七七二	一〇二
九四五年	二六五	四七一	二一八
九五六年	二五四	四一一	二三二
九六七年	二五六	四一二	二四二
九一十年	二四七	三八二	二〇七
			四五

南出高
輸出高
要商
國內需
在荷口

▲繩筵類好調 繩筵類は、近來商工業界の暇暇に連れ、需要に増加し來り供給は常に之れに伴はざる傾きあり、從來朝鮮方面に移出せし分量は内地より同地に移

を爲し來れる結果逐次移出量を減
殺し來れるが故平くも需給の差
を得つゝある有機なるが何分内地
間への消費せらるゝ代物なる才

け餘り突飛なる感嘆も示さるれこ
諸物價高き相俟ち徐々相賜を引續
め來り今春唱へられし相場より約
三割方高値を告げつゝあり尤も麻
下に於ける主たる製産地三島、豊

の被害あり自然原料を得る途なく
爲めに他より買入れ製作を爲せる
こと等亦一の原因として數へ得べ
く而して月先は農繁時期に向へる

このように産地仕廻りも殆ど皆無くなるべきが故に市況は今一段の暴落を示すべしと観測されたり

▲珪瑯鐵器好況 鐵器及銅器アルミニウム器の騰貴と

獨逸の仕向け地なりし支那南洋及び
印度方面より水不匙其他食器の注
入費到する所なりしを原料薄物鐵

樹の千足より生産意の如くならざる一面大訛に於て我國に於ける珪礬鐵器の産額は七八百萬圓にして計文價格の半額に充たざる有餘なるを以て自然好況の成行きを示し得れり(大府主人)
(本廠主人)

更迭ありたり（一日朝刊の分取消す）
大邸所長 堀 諫
京城支店殖産課長
金堤所長 佐瀬 直衛
大邸出張所長

金堤出散所長 秋彦課長 足立丈治郎
殖産課長を免し殖産事務を命ず
當は足立氏は東祐社員の身分を
保有され新設の東洋畜産興業株
會社に入り事務取締役たるべしと

三島頭取張宴 朝録
乳養子頭取三島太郎氏は一日午

隊北進

議と支那

へへの回答を遂に大體の意思は「此問題に單に支那内政に關する者」に關係無し加へて此事を省き支那政府は四國銀行に何等の約束する事無し」と謂ふにあり

北京

▲輸入税
水産物の輸入税は三百六十萬七千

▲輸入額
水産物の輸入額は三百六十五萬七千

本社の
熱耐が耐火
級耐火煉瓦
亦優良のも



科学的技術
 同等家
 豊富にして
 大度「ゼー」
 事は数度の
 科学

山

耐

募

はさるの付
本社は平時
らざらは勿
品本位を自
之れ本社並

人
要集

東

顧總發

火 起
發 成
立 倉

天 株式

市會

式 株

足宇太太前高松
利都間々田橋崎代
可宮町市町市町

石取土下同古平郡二須白福妻鹿
四手浦館河山木津河島吉澤
町町町町町町町町町町町町町

(東江)
增補
附錄
附錄
附錄

(東)

[illegible]

朝鮮人の衣食住 定置仕立 襦袢四疊
朝服永祿博士唐文
皇行所 三品袴水袋の具は朝鮮式
朝鮮料理の味を知んてゐる人は朝鮮食に
先づ一本巻を一品試せよ

大和商會 國庫部
右海州龍塘浦ニ於テ
廉賣可仕候間御希望
セ被下度候
海州郡海州南面本町電話五十五番
大倉書館 村昌鐘

鐵道枕木 一千五百本
材 一千二百枚

冬羅紗洋服外
套毛皮胴着
陸軍茶褐外套
軍隊拂下品一式
和洋古衣類
新調洋服類
多少に不拘用金銀糸
龍山町二丁目地底〇五番
和洋衣服店 金子市商店
官橋地下品番 柳井日原京城六三三

募集 手代四十歳以上
京城市府前街員二五番
大橋大二郎

新聞配達人募集
本市東區町田新聞部
明告町

女中入用 経験有る者
本旅館あり
電話三五〇 山本旅館

醫師一名招聘
七星堂醫院

女事務員三名採用
但東京事務所 從一五九
北橋町一丁目一五番
電話四五二 丸屋株式會社

分析及鍊染調査 安全鑑定
分取丁場 城嶺物試驗所
電話三四四

恩許年金裁判所の臨時
四年生免保不費 永給付
毛皮なみの仕立 壯立
毛皮本町一丁目電話長番
鐵灸術師 資格者ハ格正通行
三軒町電話金〇八三番
一切の治療法依順願す
明治町 柔術道場



十七、四 小林蹴月作 武内桂舟畫

A black and white photograph of a man and a woman in traditional Japanese attire. The man, on the left, is wearing a dark kimono and a white head covering, looking towards the woman. The woman, on the right, is wearing a dark kimono and a white head covering, looking back at the man. They are standing in front of a light-colored wall with a vertical line.

酒井勉君

鮮米が品質不良風味劣等云はたのは昔の語で今日では殆んき地の良種を蒔きつけてゐる上に

▽女子教育

▽この關係
音聲を清くし

目をよく世間の父兄達が無

ななもののさ考へ女學校ならは音楽
をやめて後日役に立つ裁縫の時間
多くして下さればよいにさか刃
音樂なんぞの點は

開れる言葉です。これに就て

「父兄がさう思召すのは誠に無知な事です。之は音楽の教化（カウチゼーション）の事ではないからであります」

目聲を清くいたします

から人と對話いたしても塵によ
く快い感じを興へる事になりま
す。痛は足らざるほどである。

ドミンゴは左記兩氏が革
命會議の上處方せられた

のて男等ては日本て一つしか
いたんせきの良劑で其製法は
劑にして用量は極めて少く効
めて取替です

三

喉にせら／＼する時、
より度する痰咳時候の
起る痰咳たんせきに下

用不苦類似藥を賣る店

所大邑弘濟藥院

人
病
講
並
二
月

はい毒
 薬 並 百 五 十 円
 合 議 採 査 成
 時 二 日 元
 阪

らゆる治療を施すも効

京坂南大門外停車場通
 大阪有田 銀を賣
 取られ
 に甘物 東京大阪各地に
 にセトラーあり
 老翁海免に命置來朝の北

山本町三丁目 全支店

京城・龍山・仁川等各地に
 平壤・楊口・士蓋里 全支店
 仁川宮町二丁目 全支店
 ● 朝鮮のにせ物

兎市清古遺券に支店あり

京・城・龍・山・等・各・地・に・偶・物・有　御注
本國に二回渡航した面して其歸

彈丸糧食に亞ぐ必需品!!

すは者を妻の合ふ一入ばと存じ候。

申す迄もなく我軍這回の戰鬪參加は日清日露の夫れとは全然其趣旨を異にし露國を獨逸の毒手より救ひ出しスラヴ民族に自由と光明とを導

抛ひ名も矢ねぬ和直の胆も霞ね云消る涙

「へ、向きの軍國を信じて、他へは手置の要領行ふべし。概有之候。」

「とは云へ。油斷は大敵!! 今より愈々冬期に入る事に候へば我等身を清潔に保ち且つ皮膚の

蓋し我等戰士にこりべルベツト石鹼は

食に亞ぐの必須品に有之候。
太郎坊も愛子も洗面入浴の節には小供の皮膚にも至極適應せるベルベツト石鹼御忘れなう御使用の件特に御注意申上候。

太郎愛子の父より

一、方家山に入り、東行。大正十六年八月二日、四十五

純良の薬品と膏藥

自千町七寺

[Illegible text]

元丁丑四

電話一七五八
辰登京成四七四

病院用

鮮魚總代理店バイン萬年筆京城出張所

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八

當銀行之預金、貸金、爲替等ノ一般

支那人 石井 眞村